

成果指標				
成果指標	当該年度のはだか麦生産面積／前年度のはだか麦生産面積 × 100			
指標設定の考え方	当該年度のはだか麦の生産面積と前年度のはだか麦の生産面積を比較することで、事業効果を測る。			
区分年度	26年度	27年度	28年度	
目標	100%以上	100%以上	0	0
実績	1.018	1.153	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	3	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	平成27年度から30年度までの2か年を対象とした水田フル活用事業として、はだか麦の生産拡大実施に効果のある事業であるため、引き続き継続を行う必要がある。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	3	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	今年度から平成30年度までの事業で、継続した2か年(27・28年度)を対象として実施される。水田フル活用を先導するモデル事業として、はだか麦の生産拡大に大きく貢献することから、引き続き事業動向を把握する必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題